

新篠津村個別施設計画【概要版】

計画の目的

本村における公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「新篠津村公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を2017年3月に策定したことを踏まえ、同計画に基づく施設ごとの取組方針等を示す計画（以下、「個別施設計画」という。）を策定するものです。

個別施設計画策定の範囲と計画期間

■対象施設

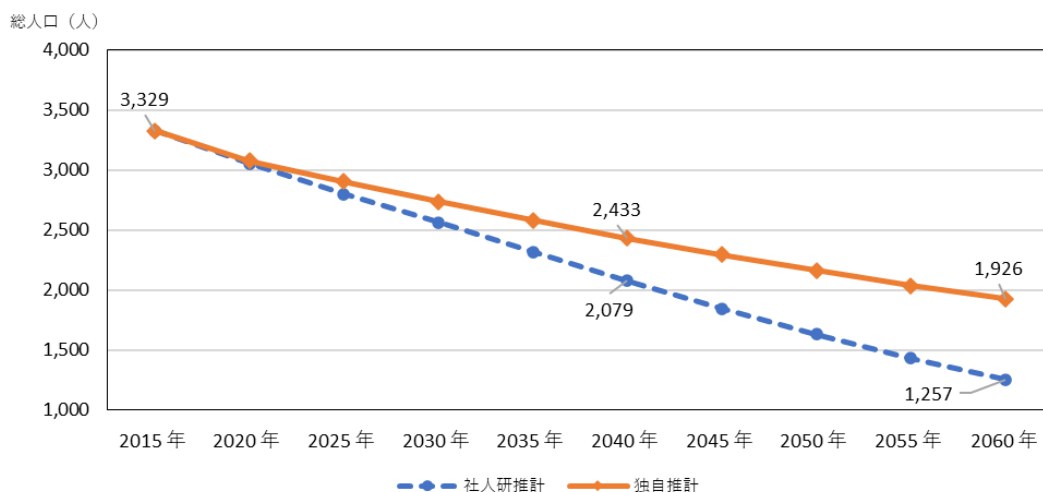
No.	施設分類名	主な施設
1	村民文化系施設	コミュニティプラザ、集落センター等
2	スポーツ・レクリエーション系施設	海洋センター体育館、村営プール等
3	産業系施設	しんしのつ産直市場、宿泊研修施設「たっぷの湯」等
4	学校教育施設	小学校、中学校
5	子育て支援施設	保育所
6	保健・福祉施設	保健センター、介護予防支援事業施設等
7	医療施設	すこやかクリニック等
8	行政系施設	役場庁舎、消防署等
9	その他	車両センター、トイレ、職員住宅等

公共施設等の情報は平成30年3月末を基準日とし、計画期間は2021年から2030年度までの計画を定めます。

将来の人口予測

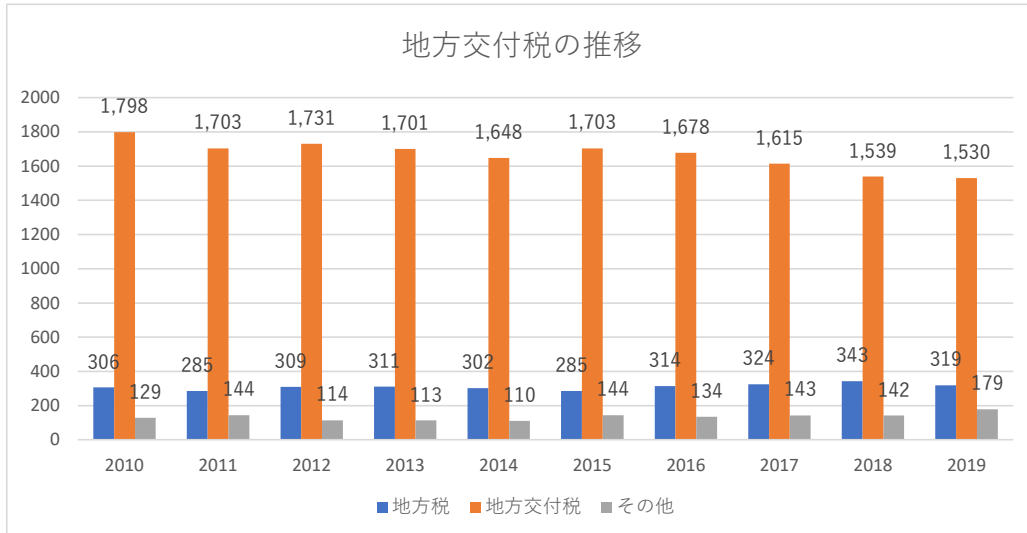
新篠津村人口ビジョンにおいて、2015（平成27年）年以降の新篠津村の人口は、2015年（平成27年）の人口から現状し、2040年（令和22）年には2,433人となる見込みです。

図表 将来人口の見込み



(1) 地方交付税の推移

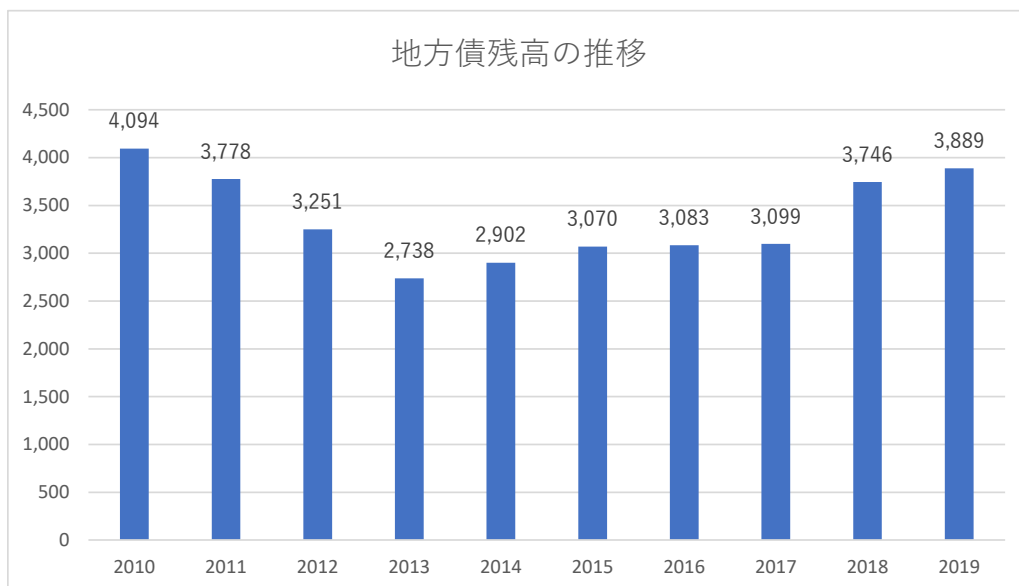
過去10年間、地方税は0.1億円の微増、地方交付税は2.7億円減少、その他（地方譲与税等）は0.5億円の微増となっています。（単位：百万円）



(2) 地方債残高の推移

地方債残高は2010年から2013年までは減少傾向でしたが、2014年以降は増加傾向にあります。

（単位：百万円）



(3) 当村の課題

- ①人口減少は不可避
- ②地方交付税は減少傾向
- ③地方債は増加傾向



全ての更新は困難

本村施設更新の基本方針

地域の将来像を見据えた公共施設等の適正な配置等の検討を行っていきます。新規の公共施設等は財政状況を踏まえ、供給量の適正化を図ります。既存施設については、老朽化の状況や利用実態及び今後の需要見通しを踏まえ、今後とも保持していく必要があると認められた施設については、長寿命化を柱に、建て替え、民間等への譲渡、複合化、広域化のいずれかを選択し、建て替えをする場合には、まず減築や他の施設との複合化を検討します。

- 施策1 村民と行政の協働によるまち
- 施策2 快適で安全なまち
- 施策3 健康で思いやりのあるまち
- 施策4 力強く豊かな産業の息づくまち
- 施策5 心豊かな人を育てるまち

新篠津村公共施設等総合管理計画に掲げる基本的な考え方

地域の将来像を見据えた公共施設等の適正な配置等の検討を行っていきます。新規の公共施設等は財政状況を踏まえ、供給量の適正化を図ります

■供給に関する方針

- 機能の複合化等による効率的な施設配置
- 施設総量の適正化

■品質に関する方針

- 予防保全の推進
- 計画的な長寿命化の推進

■財務に関する方針

- 長期的費用の縮減と平準化
- 維持管理費用の適正化
- 民間活力の導入

個別施設更新方法と優先順位の考え方

更新

- 老朽化が進んだ施設を建替えること。
原則として床面積は縮小する。

長寿命化

- 老朽化が進んだ施設を建替えること。
原則として床面積は縮小する。

複合化・多機能化

- 一つの施設に異なる複数の機能を保有させることにより、運用や維持管理の効率化を図ること。
- 複数の機能を保有した施設を新設する方法と既存の施設に機能を移管する。
- 施設を新設する場合は、複合化する施設の床面積の合計より縮小する

統廃合

- 余剰施設を同じ機能の施設に東宝することにより保有量を最適化

用途変更

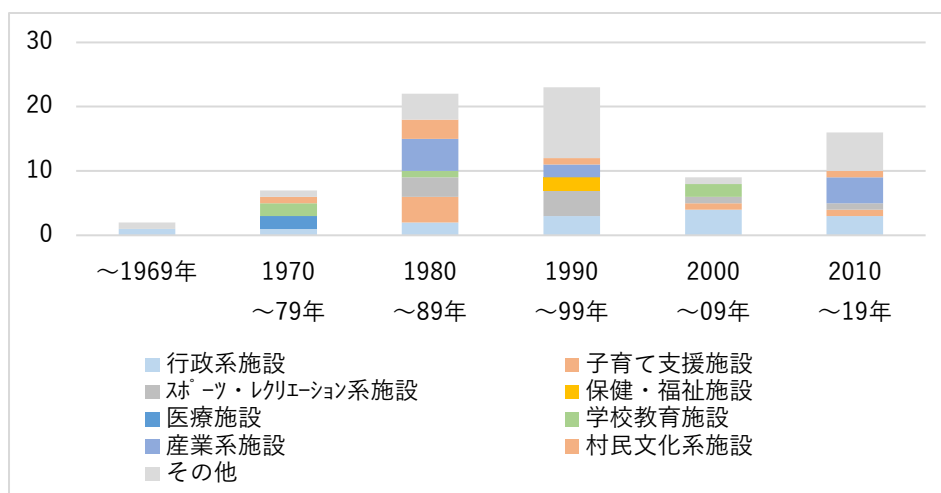
- 機能を廃止し新たな機能を保有させる

譲渡

- 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。

個別施設計画対象施設の概要

個別施設計画における対象公共施設は 79 施設ありますが、年代別の建設棟数をみると 1980 年代から 2010 年代までの建設が多く、1990 年代が最も多い 23 施設 (29.1%)、次いで 1980 年代が 12 施設 (27.8%)、2010 年代が 16 施設 (20.3%) となっています。



■ 村民文化施設の方針

方針	施設
維持	コミュニティプラザ第1、第5地区ふれあいセンター、自治センター
建替	第3地区集落センター、第4地区多目的研修集会施設

■ スポーツ・レクリエーション系施設の方針

方針	施設
維持	海洋センター体育館、海洋センター艇庫、村営のびのびプール、第5地区体育館、宿泊研修施設「たっぷの湯」、クラブハウス「アイリス」

■ 産業系施設の方針

方針	施設
維持	しんしのつ産直市場、道の駅公衆トイレ
長寿命化	堆肥工場物品庫A・B、米乾燥調製施設
転用	産業活性化センター

■ 学校教育施設の方針

方針	施設
長寿命化	新篠津小学校校舎、新篠津小学校体育館、新篠津中学校校舎、新篠津中学校体育館、学校給食センター

■ 保健・福祉施設の方針

方針	施設
長寿命化	保健センター、介護予防支援事業施設

■ 医療施設の方針

方針	施設
建替	すこやかクリニック、すこやかクリニック車庫

■ 行政系施設の方針

方針	施設
建替	新篠津村役場本庁舎、役場書庫、新篠津消防署庁舎、新篠津消防署車庫、新篠津消防署資機材収納格納庫、新篠津消防署プレハブ物置、新篠津消防署格納庫 NO.1～NO.3 新篠津消防団第1分団～第5分団詰所

■その他施設の方針

方針	施設
維持	車両センター、車庫(通学バス車庫)、防災倉庫、資材倉庫、しのつ湖格納庫 職員住宅 NO.9～NO.19、職員住宅No.19(物置)、小学校校長住宅、中学校教頭住宅 中学校校長住宅、小学校教頭住宅、教員住宅(西の里)、しのつ公園トイレ、 さわやかトイレ、医師住宅 No.1・No.2・No.4、山車会館
廃止	さわやかステーション

まとめ

本計画の方針を実施した場合、個別施設計画の財政効果は以下のとおり、厳しい状況が予想されます。このことから、次期計画を見据え、更なる施設の統廃合、複合施設化、再配置の検討を始める必要があります。

(単位：千円)

	棟数	単純更新費用 2021～2030年	計画実施後 2021～2030年	削減額
行政系施設	3	790,054	0	△790,054
子育て支援施設	1	81,180	0	△81,180
スポーツ・レクリエーション系施設	1	385,560	0	△385,560
保健・福祉施設	0	39,168	20,177	△18,990
医療施設	0	404,600	404,600	0
学校教育施設	1	1,599,233	185,667	△1,413,566
産業系施設	4	1,270,764	625,180	△645,584
村民文化系施設	4	1,342,976	555,868	△787,108
その他	1	728,829	433,833	△294,996
合計	15	6,642,363	2,225,326	△4,417,038

今後、総合管理計画の方針や本計画における各施設の方向性に基づき、個別施設ごとに具体的な取り組みを行います。事務的な整理や整備手法などの検討や具体的な対策の実施にあたっては、対象施設に関連する村民・施設利用者・関係団体等との協議を行い、十分な調整と合意形成を図りながら進めます。

また、施設の再編などによる市民サービスの向上は、全体の最適化に資するものであることから、公共施設の規模の最適化や多機能化等の取り組みについては、推進体制である施設マネジメント推進委員会で協議のうえ推進します。